

第32回西蒲区在宅医療ネットワークの集い

(西蒲区ご当地連携研修会)

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第32回西蒲地区在宅医療ネットワーク定例会では、新潟医療センター歯科・口腔外科部長 道見 登 先生をお招きし、「摂食嚥下障害との向き合い方と歯科の役割」をテーマに行いたいと思います。皆さま御多用のこととは存じますが、是非ご参加くださいますよう宜しくお願いいたします。

・日 時：令和元年6月19日(水) 19:00～20:30

・場 所：新潟西蒲メディカルセンター病院 6Fリハビリテーションセンター

★開会挨拶 ネットワーク代表 潟東クリニック 院長 福田 喜一 氏

★講演

「摂食嚥下障害との向き合い方と歯科の役割」

新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟医療センター

歯科・口腔外科部長 道見 登 先生

超高齢社会となり、誤嚥性肺炎や低栄養のリスクが高い人が増えるのは自然な流れでもあるが、人生の最終ステージをどう食べて過ごすかということはひとりひとりの人生の在り方を左右する大きな要素である。そこでは倫理観や価値観、人間同士の信頼感といった形の無い目に見えないものも重要になってくる。

摂食嚥下障害には多職種が連携しひとつのチームとなって対応することが望まれる。その中でも歯科は口腔の専門職として近年「食べる」という観点から積極的に業務内容を拡大しているが、その役割が期待される一方で、医療や介護の中でのスタンスを誤るとチームアプローチを台無しにしてしまう可能性もある。

私は摂食嚥下障害に対して25年近く前から歯科医師として多職種と連携しながら取り組んできた。病院という多職種に囲まれた環境ではあったが、それは地域の中での歯科という構図と似ている。私のこれまでの経験を通じて、摂食嚥下障害での歯科の役割、歯科と他職種との連携の在り方、摂食嚥下障害との向き合い方を考えていただければ幸いである。

★VE(嚥下内視鏡検査)のデモンストレーション(見学)

★まとめ 上原歯科クリニック 院長 上原 達明 氏

★諸連絡など

司会：のぞわ歯科クリニック 院長 野澤 太郎 氏

西蒲区在宅医療ネットワーク 代表 福田 喜一

歯科代表幹事 上原 達明

事務局長 くにい調剤薬局 國井 洋子

主催：西蒲区在宅医療ネットワークの集い

共催：新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲